

## 地域における避難訓練について ～自らの命は自らが守るために～

### 1 目的

出水期（梅雨）に備え、自治会（自主防災会）を始めとした地域団体が主体となって、土砂災害を想定した自主的な訓練を行い、住民一人ひとりが自分の身を守ること、地域住民相互がともに助け合うことなど、実効性のある訓練を行うことにより地域防災力の向上を図る。

### 2 避難訓練の流れ【例】

#### 【事前準備】

- ・参加者、避難所、避難経路を確認する。
- ・地域地区の地図を準備する。（参加人数分）
- ・チェックリストを準備する。（参加人数分）
- ・避難行動要支援者に対する支援者を決めておく。 など



#### 【訓練当日】

① 自宅で防災行政無線による避難勧告等の放送を確認する。

#### ② 避難開始

- ・地図を片手に避難経路、危険な箇所（大雨想定）などを確認しながら避難所へ歩いて移動する。
- ・避難に要する時間を計る。
- ・避難行動要支援者の支援者は、歩行等に注意を払って移動する。

#### ③ 避難所到着

- ・参加者の確認を行う。
- ・チェックリストにより、反省会を行う。
- ・ハザードマップで自宅の位置を再確認する。
- ・情報の取得方法の確認  
（防災行政無線（テレホンサービス）、防災情報メール、テレビのデータ放送）
- ・今後避難する場合の意見交換を行う。  
警戒レベル3：避難準備・高齢者等避難開始  
（避難行動要支援者は避難開始）  
警戒レベル4：避難勧告（全員避難開始） など

### 3 その他

- ・避難訓練を実施する地域団体等は危機管理課へご連絡ください。
- ・その他、ご不明な点がございましたら危機管理課へご連絡ください。

**「訓練」という形ではなく「まち歩き」といった事でもかまいません。  
自分たちのできる事から始め、住んでいる地域を知ること  
で、災害に備えましょう。**